

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人海風会 こどもひろば風		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名(16家庭)	(回答者数) 15名(13家庭)
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	食事を重要視している。	一人ひとりに合わせた食事のとり方を工夫し、職員で共有できるようにしている。	神奈川歯科大の協力のもと、摂食指導を行ってもらいながら、食事のとらせ方を進めている。
2	運動療法等を行っている。	歩行の中に概念学習をいれる運動音楽療法を取り入れ、体内リズムを整えている。	外部の講師に依頼し、運動音楽療法の方法等の指導方法を研修している。
3	本人のこだわりを無くしていけるよう取り組んでいる。	こだわりを無くせるよう、スモールステップで出来るよう取り組んでいる。	関係機関(幼稚園等)と連携し、一貫した取り組みが出来るよう取り組んでいる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段があるためバリアフリーになっていない。	注意して昇降するよう心掛けている。	今年度の終わりまでには新築の園舎が完成予定で、エレベーターもありバリアフリー化を図っている。階段の昇降はトレーニングの一環として使っていきたい。
2	近隣の幼稚園等との交流が図れない。	地域との交流はチャリティーフェアなどで行っているが、近隣の幼稚園等との交流をプログラムに入れる時間が中々取れない。	近くの幼稚園等の活動に参加出来るよう交流を持てるよう模索していく。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人海風会 こどもひろば風					公表日	2026年3月31日			
					利用児童数	2025年10月31日		回収数	13家庭(15名)	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12			1	・スペースを活用していろいろと工夫をしてくださっていると思う。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2			・今いる先生1人1人の能力が高いので問題はないが、もう少し余裕があっても良いのでは。 ・こどもの人数と比べてスタッフの人数が少なかつたりする時もある。	職員数は規定以上に配置していますが、活動内容によって少なく感じてしまうこともあるかもしれません。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2			・階段のみしかなのが少し不便。 ・こどもにわかりやすい構造ですが、現在工事のためバリアフリーではありません。	来年度に完成予定の校舎はバリアフリーになります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				・いつもきれいに清掃されている。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	2			・細かく見て頂いているのでこどもに合った目標に対しての成長を教えてくれる。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1	・プログラム通りだと思う。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13				・丁寧に毎年度作成して頂いている。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13				・丁寧に毎年度作成して頂いている。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	3		2		毎日の活動が固定化しないよう工夫しています。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	3	3	・地域のこどもと活動する機会はないと思います。	今後考えていきたいと思っています。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	13					入園時や変更時にお伝えしています。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				・用紙を用いて面談をして頂いている。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	3	2	・ないと思います。できればペアレントトレーニングや研修会に参加したいと思います。	家庭支援プログラムは、個人面談の中で行っていますが、不足している部分は、外部の研修会や講習会等でお知らせしています。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	11	2			・送り迎え時に伝えて頂いています。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	3				随時個人面談を行っていますが、再度ご希望を伺うようにします。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13							
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	6	2	・適度にあるのでありがたい。 ・市が開催した保護者会の案内はありましたが、兄弟同士の交流はないです。	必要に応じて保護者会は開催していますが、きょうだい同士のイベントは今後検討していきたいと思っています。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		2	相談等がある場合、連絡がしやすい関係性を常に作って頂いている。また迅速に対応して頂いている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	4		2		ホームページで自己評価を掲載し、行事の様子などはInstagramでも公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					十分に配慮しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1			未回答 1	マニュアルは策定し、説明を行っており、地震・火災の訓練は行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			2	未回答 1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12				1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12				1	・その日のお迎え時に必ず伝えてくれる。 すぐに電話でお伝えするようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				・先生方に対して全幅の信頼を寄せている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	4			・毎日笑顔で行っている。 ・バスに乗れなくなったため	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			・いつもフレキシブルに寄り添って支援して頂きありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人海風会 こどもひろば風		公表日 2026年3月31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	運動のプログラムや、プールなど安全に行えるスペースが確保できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2	職員数は規定以上に配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3	わかりやすく構造化している	新築の園舎ではバリアフリー化を図っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1		常に清潔を保つようになっている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2		状況に応じて個別対応を行っている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	2	職員ミーティングで行われている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		保護者に評価をしてもらい、課題を確認している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		職員面談を行い、意見を出してもらうようにしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	標準化されたものと事業所内のアセスメントを使用し確認している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	2	活動内容は各メソッドに沿って行っているため、夏のプログラム等イベントのプログラムはチームで行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2	固定しないよう工夫している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	2		個別支援計画に沿って行っているが、更に個別指導が充実できるよう検討していきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	3	毎日気づいた点等を連絡事項用紙に記入し当日休んだ職員も確認できるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	2	日誌に記録をし、改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	関係機関と連携を図っている	インクルージョン推進のため、近隣の幼稚園等との連携を模索していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	-	-		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	2	療育センターが事務局の事業所連絡会へ参加し、課題を共有し連携を図っている	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	7		今後検討していきたい
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1	送迎時や、お電話で保護者との連絡を密に取っている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	面談で家庭支援を行っている 保護者向けの研修等の情報提供を行っている		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1	面談で説明を行っている		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	保護者からの意見を尊重した計画を立て、面談などで同意を得ている		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		保護者の方の相談に応じ、面談を行っている		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	7	保護者会はないが、必要に応じて随時行っている。また、市で行っている保護者同士の交流会に積極的に参加してもらえよう情報を共有している	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	連絡帳や直接のご連絡にすぐに対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	1	ホームページやインスタグラムに行事を載せ発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	送迎時や、お電話で保護者との連絡を密に取っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	1	チャリティーフェアを行い、多くの地域の方々に参加していただいている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2	マニュアルをすぐ確認できるようにしている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	定期的に避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	児童のファイルをすぐに見られる場所に置きスタッフに周知している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	事業所で提供するものに関しては調査・周知し対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	2	火災や地震を想定した訓練を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	保護者への説明を必ず行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	記録を取り、毎日のミーティングで再確認している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止研修会を行っている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	身体拘束を個別支援計画に記載し、職員にも周知している		